

白浜町教育委員会 会議の結果

件名	令和3年9月定例教育委員会
日時	令和3年9月30日(木) 午後2時00分～午後2時55分
場所	教育委員会 会議室
出席者	○教育委員 豊田教育長、榎本委員、山本委員、藤藪委員、松場委員 ○職員(新型コロナウイルス感染症対策として議事に関わりのない職員は欠席) 榎本教育次長、森本教育次長補佐、岡田総務学事係長、江川生涯学習係長

1. 開会あいさつ(教育長)

それでは定例教育委員会の前に、ご報告させていただきます。

本日の出席委員は、5名ですので、会議は成立しております。

ただ今から9月定例教育委員会を開会します。

2. 会議録署名員の指名

会議録署名委員に松場委員が指名される。

3. 報告事項

報告第 7号 臨時代理の報告(令和3年度白浜町一般会計補正予算(3号)に係る意見について)

《概要》令和3年度白浜町一般会計補正予算(3号)のうち教育に関する事務に係る部分について、町長から意見を求められ回答する必要が生じたが、緊急に執行を要し、教育委員会の会議に付議する暇がなかったため、臨時に代理した。(学校施設整備工事費、学童ICT化推進事業補助金、しらとりスポーツ広場フェンス撤去工事費など)

【松場委員】

学童のICT化のICカードでの運用とはどういうものか。

【榎本次長】

学童保育所に入退室する時にカードリーダーで管理するものです。学童保育は入退室の時間が個々でずれるので、このICT補助金を活用して整備したい。先生用のパソコンについても、現在コロナ禍においては、講習会がオンラインで開催されることもあり、その整備を行いたい。またカードのほかにキーホルダー式のものなどあるが、現場にあった運用しやすいものを導入していきたい。補助金として堅田保育園へ補助していく形になります。

【榎本委員】

しらとりスポーツ広場は、一度見に行ってきたが、増水があったら川岸がえぐられてくる

んですね。台風や大雨により形状が変わってきたりするので注意するようにしてもらいたい。

4. 付議事項

議案第14号 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
「秘密会」にて審議

議案第15号 令和2年度白浜町教育委員会事務事業等の評価について
《概要》教育委員会は毎年、事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会へ報告するとともに、公表することが義務付けられているため、令和2年度における事務事業等の評価をとりまとめた。

【榎本委員】

9ページの防災安全教育の推進で、先程、会議前にFMビーチステーションの話をしておりまして、事が起こった際に、例えばある集落が孤立したとか、すべての町民とはいきませんが、それぞれの学校の児童生徒のおうちに電波が入るのかどうか。一方通行ではありますが、緊急事態のメッセージを送る方法を確認しておいたらいかがかと思う。

【榎本次長】

合併の時に、日置の方はFMが受信できないということで、山の方に中継局を立てて賄えるようにしている。賄えないのは、市鹿野などの山間部の方になり、そこには町のブロードバンドを整備して、エリア的にはカバーできています。FMは防災対策として設置した経過がありますので、災害時には活躍して頂けると思う。

【藤藪委員】

同じ防災安全教育の推進で、評価はBですけども、去年の評価は何になっているか。

【榎本次長】

防災の部分は、前回全体の中にあり大きくは変わっていないが、今回新たに防災の項目として作っている。津波や洪水の浸水について、避難訓練とも合わせた取り組みを、子どもたちに教えて頂きたく校長会でもお示ししたところです。

・審議の結果、委員全員異議なく、議案第15号 令和2年度白浜町教育委員会事務事業等の評価については、原案のとおり決した。

5. 請願事項

6. 諸報

諸報 町立小中学校等において、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した場合の公表及び対応について

《概要》感染が確認された初期の対応はこれまでと変わりはないが、デルタ株は感染力が強いとされ、学校等内においてクラスターが発生することも考えられることから、管轄保健所

に積極的に情報提供し、疫学調査の結果をもとに判断し、公表する。

【榎本委員】

最近、学校名が公表している事例もあった。ある程度の情報がわからないと周りも不安になる。学校などで起こったらこのように対応するのが安全だと思う。児童生徒の保護は学校の教師が気を付けていかなければならないと思う。

【榎本次長】

クラスター認定は概ね5人位になるんですけど、一日で陽性者が出る可能性もあり、発生のタイムラグによっても違う。公表するとなれば、学校名を出してよいかの連絡が必ず教育委員会へ入りますので、保健所や県教育委員会とも充分協議したうえで対応していきたいと思えます。

【松場委員】

コロナに関連して、抗原検査はPCR検査と違って、確定しにくい、適していないとされているので、心配なことがあれば先に学校医へ相談して頂く方が不安もなくなるのではないかと思います。

【榎本次長】

様々なケースがありまして、例えば、弟が濃厚接触者でPCR検査対象者としますと、陽性かどうかの判定が出ていない時は、兄は学校へ行ってもいいかというケースがあります。基本的には、学校側からは兄は欠席扱いとはしないので、念のためにお休み頂いて、弟さんの結果が出るまで自宅で待機して頂けたらありがたいですとの話になります。ただ、発熱等の症状が無い限り出席停止にはならないので、兄本人がどうしても学校へ行きたいとなれば拒む理由がないんです。抗原検査とかPCR検査を受けられてから登校して頂けるとなれば安心するという話になります。学校側とすればジレンマな所があり、非常に難しい判断になります。文部科学省の指標にも校医さんとも十分連携してとっていますので、引き続き注意しておきたいと思えます。

諸報 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果 白浜町の概要について

《概要》令和3年5月27日に、全国学力・学習状況調査が小学6年生、中学3年生を対象として行われ、教科に関する調査は、国語と算数、中学校は国語と数学で、平均正答率(%)は次の通りとなった。

《小学校 国語》町 68.0、県 65.0、全国 64.7

《小学校 算数》町 70.0、県 70.0、全国 70.2

《中学校 国語》町 60.0、県 61.0、全国 64.6

《中学校 数学》町 50.0、県 55.0、全国 57.2

【榎本次長】

小学校の段階では全国や県に比べて、遜色ないと言いますか、高いレベルで動いているんですけども、中学校になると毎年下がっています。この要因はなかなかつかみにくいです。家での勉強時間など全国から比べて低いので、そうなのかなと。ただ、憶測にしか過ぎない

ですけど、白浜町の義務教育課程から外れて、例えば田辺中学校や私立の中学校へ行ったりするとこの調査には含まれないことにもなります。まあ原因はそれだけではないんですけども、毎年この状況が続いていますので、やはり全体的な底上げが必要ではないかと感じています。

【山本委員】

だいたい毎年同じような傾向で出ています。学力的に優位な子どもたちが対象から外れている要因も一つあると思います。それと学習環境もやはり都会と白浜町では違うところが出てくると思います。特に中学生になると塾が多様にありますし。気になるのが、英語の勉強は好きですかという質問紙調査で、小学校では75.7%、中学校でいくと47.4%という辺りを見ると、教育長いつも言われていますけども、英語教育の中学校に入ると段差があるというのは、我々も教師の中でも課題を共通理解しておく必要があると思います。

【豊田教育長】

今、中学校の部分で学力が今回悪かったということで、対策をみんなで話し合おうとする動きがあります。小学校では昨年からは英語が完全実施されていますが、テストがなく評価が付きませんので、中学校へ行ってから自分の実力が分かるということもある。それらを含めて、自分たちが今やれる部分をきちんとやっていかなければならないと思っています。

【山本委員】

学校訪問させて頂いた時も、どこの学校も落ち着いていますし、中学校も特に落ち着いた雰囲気です。授業もされています。小学校は小学校なりに一生懸命されている。小学校はそういったところからも数字にも表れてきていると思います。中学校の部分はどこに原因があるというのもしっかり話し合っていくことが大事で、対策を立てていかないと打破できないと思います。自分たちも一緒になって取り組みたいと思います。

7. その他

令和3年10月定例教育委員会の日程について

令和3年10月21日(木)午後2時00分から白浜町教育委員会会議室で開催予定。